

代表質問

この定例会では、議案や市政全般について、各会派を代表して6人の議員が質問し、活発な議論を展開しました。その概要は、次のとおりです。

*代表質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。

水曜会



神原 則男

市制施行100周年後の未来へ向けた26年度予算の具体は

問 市長は、2年後の市制施行100周年、その後の未来へ向け、次のステージへ向かうことに意を用いたと編成方針を述べたが、その具体は。

答 協働のまちづくりを基盤に据え、重点政策として100万本のばらのまちづくりの推進や、福山駅周辺の中心市街地の魅力創出など「チャレンジ！100周年」の5つの施策をはじめ、都市ブランド戦略や競馬場跡地活用、市制施行100周年記念事業の推進など、26施策、約69億円を重点配分し、次の100年に向けての人的・物的・金銭的の基盤づくりの予算とした。

市制施行100周年記念事業の進捗状況と今後の予定は

問 ①基本構想を策定し取り組んでいるが、進捗状況は。
②まだ全体像が見えないが、今後のスケジュールは。

答 ①昨年12月には基本構想に基づき各種団体の長で構成する推進委員会を開催し、幹事会や部会等の推進体制を決定した。本年2月24日には第1回目の幹事会を開催し、記念事業推進に当たっての目標に掲げる「市民の全員参加」

どうする 鞍のまちづくり

問 市長は、鞍の再生・まちづくりの活性化に向け、待ったなしの状況下、今本市が得意なことを積極的に取り組むとして、26年度は鞍関連事業に総額約4億7900万円の予算を計上した。埋め立て架橋計画の白紙撤回から約2年となるが、現在の本市の考えは。

答 大多数の住民が長年にわたって待ち望み、行政と一体となって取り組んできた計画を撤回した

と「100万本のばらのまち福山」の実現に向けたご意見を伺った。
②26年度の早い段階で事業計画案予算案等を決定し、広報・PR活動を積極的にやりたい。また、27年1月からのプレイベントや28年1月からの記念事業の実施に向け取り組む。



市制施行100周年記念事業のシンボルマーク

重みを十二分に受け止め、知事自らの言葉で鞍のまちづくりに対する熱い思いを語り、将来に向けて希望が持てるよう、住民目線に立った対応をされることを強く望む。このような姿勢に立っていただけるのであれば、県の方針は容認できないという立ち位置の中で、調整役を担うとした私としても、しっかりとその役割を果たしていけると考える。

* 3月定例会の代表質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → 録画放送はこちらから

→ 開催年：選択してください ▼ → 平成26年 → 平成26年第1回（3月）定例会